

地理 1 第 3 章 世界の諸地域 (2) ヨーロッパ州 ①

組 番 名前

◎ 右の地図をもとに、問いに答えましょう。

(1) 地図中の①～⑩の国名を答えましょう。

(2) 地図中の①, ④, ⑥, ⑦, ⑨, ⑩の国の首都名を答えましょう。

(3) 世界最小の面積の国名を答えましょう。また、その国はどこの国と接しているか、地図中の①～

⑩の番号で答えましょう。



「Craft Map 日本・世界の白地図」

かいとうらん
解答欄

| | | | | |
|-----|--------------------------|---|-----------------|---|
| (1) | ① | ② | ③ | ④ |
| | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ |
| | ⑨ | ⑩ | / | |
| (2) | ① | ④ | ⑥ | |
| | ⑦ | ⑨ | ⑩ | |
| (3) | せかいさいしょう くにめい 世界最小の国名 | | せつ くに 接している国 | |

地理 1 第 3 章 世界の諸地域 (2) ヨーロッパ州 ① <解答>

【解答】

| | | | | |
|-----|-------------------|---------|-------------|--------|
| (1) | ① イギリス | ② ポルトガル | ③ スペイン | ④ フランス |
| | ⑤ オランダ | ⑥ ベルギー | ⑦ ドイツ | ⑧ スイス |
| | ⑨ イタリア | ⑩ ギリシャ | | |
| (2) | ① ロンドン | ④ パリ | ⑥ ブリュッセル | |
| | ⑦ ベルリン | ⑨ ローマ | ⑩ アテネ | |
| (3) | 世界最小の国名 バチカン市国 | | 接している国 ⑨ | |

【解説】

ヨーロッパ州の主な国の名前と位置、主な国の首都名を問う基礎的な問題です。

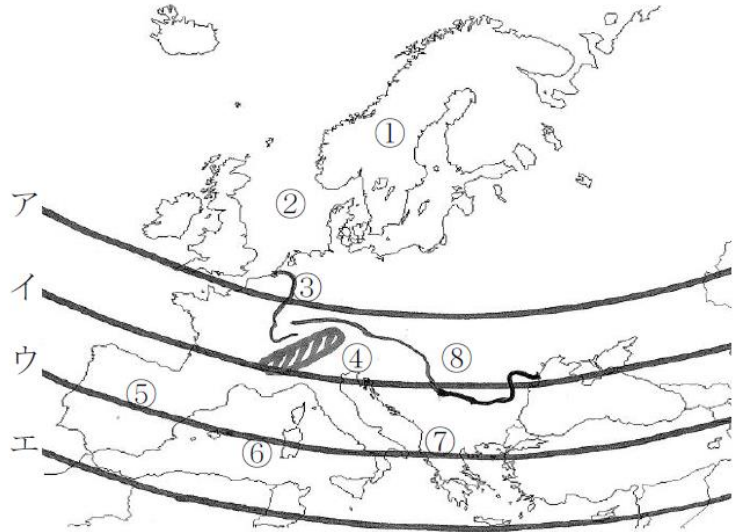
- ・ パリは「芸術の都」と言われます。他にも、オーストリアの首都のウィーンは「音楽の都」、イタリアのベネチア（ベニス）は「水の都」と言われます。このように、特徴的な都市も数多くあります。
- ・ ブリュッセルはベルギーの首都ですが、EUの本部がおかれているところでもあります。
- ・ バチカン市国は、イタリアの首都ローマ内にある市で、キリスト教カトリック教会の中心地です。

組 番 名前

◎ 右の地図をもとに、問いに答えましょう。

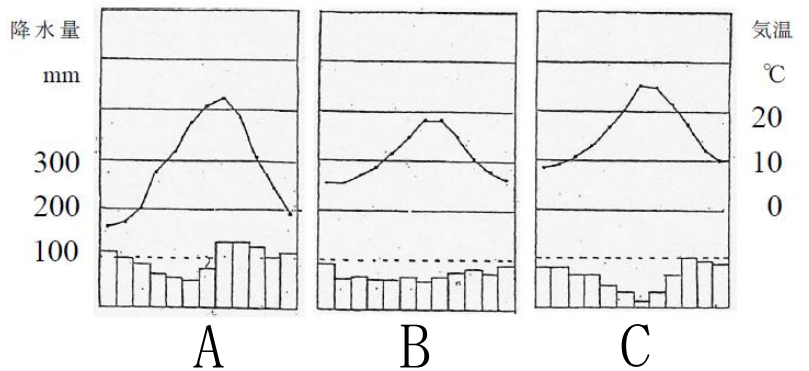
(1) 地図中の①～⑧の名称を
下の解答欄に書きましょう。

(2) 日本では北緯 40° の緯線
は、秋田県の男鹿半島付近を
通ります。ヨーロッパでは、
北緯 40° の緯線は、地図中の
ア～エのどれにあたるか、答え
ましょう。



「Craft Map 日本・世界の白地図」

(3) 右の A～C のグラフは、
ロンドン、ローマ、札幌の
気温と降水量を示していま
す。①ロンドン、②ローマ
はどれか記号で答えましょ
う。



解答欄

| | | | | |
|-----|------|-----|------|------|
| (1) | ① 半島 | ② 海 | ③ 川 | ④ 山脈 |
| | ⑤ 半島 | ⑥ 海 | ⑦ 半島 | ⑧ 川 |
| (2) | / | | | |
| (3) | ① | ② | / | |

地理 1 第 3 章 世界の諸地域 (2) ヨーロッパ州 ② <解答>

【解答】

| | | | | |
|-----|------------------|------------|-------------|-------------|
| (1) | ① スカンディナヴィア半島 | ② 北海 | ③ ライン川 | ④ アルプス山脈 |
| | ⑤ イベリア半島 | ⑥ 地中海 | ⑦ バルカン半島 | ⑧ ドナウ川 |
| (2) | ウ | / | | |
| (3) | ① ロンドン B | ② ローマ C | / | |

【解説】

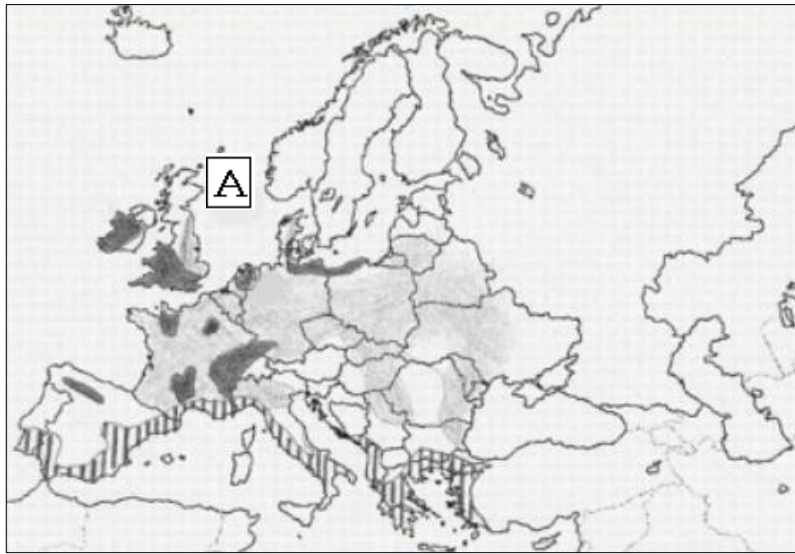
ヨーロッパ州の地形や気候に関する基礎的な問題です。

- ・ スカンディナヴィア半島では、氷河によってつくられた複雑な海岸線（フィヨルド）が見られます。
- ・ ライン川やドナウ川のように、多くの国を流れる川を国際河川といいます。
- ・ バルカン半島は、第1次世界大戦の頃に「ヨーロッパの火薬庫」と呼ばれた地域です。現在でも民族紛争や宗教紛争が多く起きています。
- ・ (3) は、気候の特性が理解できていれば解答できます。

地理 1 第 3 章 世界の諸地域 (2) ヨーロッパ州 ③

くみ ぼん なまえ
組 番 名前

◎ 地図をもとに、問いに答えましょう。



「Craft Map 日本・世界の白地図」

(1) 左の分布図の
① ■ ② ▨ ③ ▩
は農業の形態を示しています。
これらの農業をそれぞれ
何というか答えましょう。

(2) 次のア～ウの説明文は(1)
の①～③の農業の特色を
述べています。どの農業の
説明文か記号で答えましょ
う。

- ア. 夏にあまり雨が降らないため、乾燥に強いオリーブやオレンジなどの栽培がさかんである。
- イ. 小麦を作り、さらに家畜のえさにするとうもろこしなどの飼料作物をつくり、
牧畜も行っている。
- ウ. 乳牛を飼い、牛乳の生産と共にバターやチーズなどの乳製品を作っている。

(3) 地図中の A でとれる地下資源は何か、答えましょう。

(4) 工場の排煙や自動車の排出ガスが大気中で強い酸性物質に化学変化し雨や雪に溶けて地上に降り注ぐ雨を何というか、答えましょう。

(5) ヨーロッパでは、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出を減らすため、火力や原子力にかわる、風力などの自然の力を利用した発電が積極的に進められています。こういったエネルギーを何というか、答えましょう。

解答欄

| | | | |
|-----|---|-----|-----|
| (1) | ① | ② | ③ |
| (2) | ① | ② | ③ |
| (3) | | (4) | (5) |

ちり だい しょう せかい しょちいき (2) ヨーロッパ州 ③ <解答>

【解答】

| | | | | | |
|-----|-----------------|------------------|-------------------------|-----|-------------------|
| (1) | ① らくのう 酪農 | ② こんごうのうぎょう 混合農業 | ③ ち ちゅうかいしきのうぎょう 地中海式農業 | | |
| (2) | ① ウ | ② イ | ③ ア | | |
| (3) | せきゆ げんゆ 石油 (原油) | (4) | さんせい いう 酸性雨 | (5) | さいせいかのう 再生可能エネルギー |

【解説】

ヨーロッパの農業と鉱工業の知識を確認する問題です。(1), (2)は農業の特色を感覚として理解できているかを確認できる問題です。

地理 1 第 3 章 世界の諸地域 (2) ヨーロッパ州 ④

くみ ぼん なまえ
組 番 名前

◎ 表をもとに、問いに答えましょう。

【表 1】世界のブドウの生産国順位 単位：万トン

| 国 | 生産量 (2017 年) |
|--------|--------------|
| 1 中国 | 1,308 |
| 2 イタリア | 717 |
| 3 アメリカ | 668 |
| 4 フランス | 592 |
| 5 A | 539 |
| 世界計 | 7,428 |

【表 2】世界のオリーブの生産国順位 単位：万トン

| 国 | 生産量 (2017 年) |
|--------|--------------|
| 1 A | 665 |
| 2 ギリシャ | 272 |
| 3 イタリア | 258 |
| 4 トルコ | 210 |
| 5 モロッコ | 104 |
| 世界計 | 2,087 |

「世界国勢図 2019/20」(公益財団法人矢野恒太記念会)

- (1) 表 1 と表 2 の A にはヨーロッパの同じ国が入ります。
国名を答えましょう。
- (2) 表 2 で、A 国の生産量は世界の総生産量の約何%になりますか。
小数第 1 位を四捨五入して、整数で答えましょう。

解答欄

| | |
|-----|---|
| (1) | |
| (2) | % |

【解答】

| | |
|-----|------|
| (1) | スペイン |
| (2) | 32% |

【解説】

資料の読み取り能力を問う問題です。

$$(2) \text{ 割合 (百分率)} = \frac{\text{比べる量}}{\text{もとにする量}} \times 100$$

$$(\text{A国のオリーブの生産量}) \div (\text{世界のオリーブの生産量}) \times 100$$

$$665 \div 2087 \times 100 = 31.8 \dots$$

31.8の小数点以下を四捨五入すると 32% となります。

計算を簡単にするために概算の考えも有効ですが、今回は小数点以下

四捨五入という指示のため、あまり極端な概算だと誤答の危険もあるの

で注意が必要です。67/210くらいの概算が今回は有効でしょう。

※計算が不安な時は、計算機等で確認をしましょう。

【解答】

(1) ヨーロッパ諸国が世界各地に持っていた植民地が次々に独立し、世界におけるヨーロッパの政治的、経済的な影響力は低下した。(50字)

(2) ヨーロッパ諸国は、アメリカ合衆国や日本に対抗するために、EUを発足させた。(37字)

| | |
|-----|---|
| (1) | ・ 60字以内で書いている。 |
| (2) | ・ 「植民地」という言葉を使って書いている。 |
| | ・ 40字以内で書いている。 |
| | ・ 「ヨーロッパ諸国」, 「アメリカ合衆国」, 「日本」という言葉を使って書いている。 |

【解説】

EUについて、その登場した歴史的背景について問う問題です。

・ (1) は第2次世界大戦後の植民地の独立による国際的影響力の低下をおさえているかがポイントです。

・ (2) はEU誕生の必然性について歴史的な見地から問う問題です。

EUへの理解を深める上で発足の歴史的背景を理解しているかどうかをかくにん確認します。

地理 1 第 3 章 世界の諸地域 (2) ヨーロッパ州 ⑥

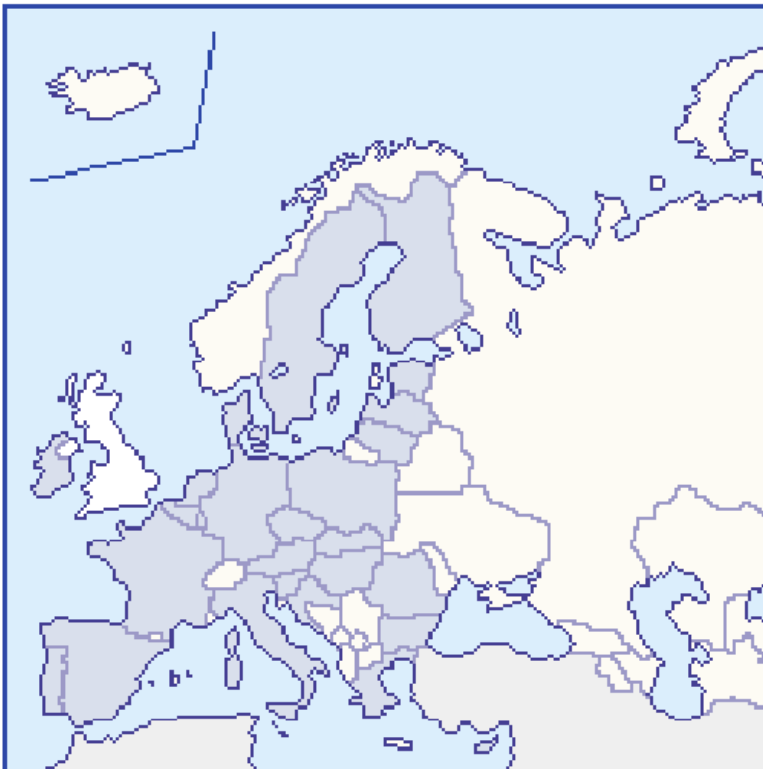
組 番 名前

◎ EUについて、次の問いに答えましょう。

(1) EUに参加している27か国のうち、20か国で単一通貨として使われているお金を何というか、答えましょう。

(2) EU加盟国の中で、21世紀になってから加盟した国を2つ答えましょう。

(3) 下の資料を見て、EU加盟国が急増していた理由を、「関税」「移動」という2つの言葉を使って、60字以内で答えましょう。 【思・判・表】



- ・ 原加盟国 (1967 年) … 6 カ国
- ・ 第 1 次拡大 (1973 年) + 3 カ国
- ・ 第 2 次拡大 (1981 年) + 1 カ国
- ・ 第 3 次拡大 (1986 年) + 2 カ国
- ※ EU 発足 (1993.11.1)
- ・ 第 4 次拡大 (1995 年) + 3 カ国
- ・ 第 5 次拡大 (2004 年) + 12 カ国
- ・ 第 6 次拡大 (2007 年) + 1 カ国
- ・ 英国の EU 離脱 (2020 年)
- ※ 2020 年現在 27 カ国が加盟

「各国・地域情勢 EUの加盟国」(外務省HP)

解答欄

| | | | |
|-----|--|-----|--|
| (1) | | (2) | |
|-----|--|-----|--|

| | | | | | | | | | |
|-----|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
| (3) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | 30 |
| | | | | | | | | | 60 |

【解答】

| | | | |
|-----|-----|-----|---|
| (1) | ユーロ | (2) | ※ |
|-----|-----|-----|---|

※(2)はエストニア, ラトビア, リトアニア, ポーランド, チェコ, スロバキア, ハンガリー, スロベニア, マルタ, キプロス, ブルガリア, ルーマニア, クロアチアの中から2カ国書いていけばよい。

(3)

加盟国となると、関税がなくなり、物の値段が安く流通が便利となる。また

人の移動も自由となり、政治や経済の効果が高いから。(54字)

| | |
|-----|--|
| (1) | 「EURO」でもよい。 |
| (2) | <ul style="list-style-type: none"> ・60字以内で書いている。 ・「<u>関税</u>」「<u>移動</u>」という2つの言葉を使って書いている。 |

【解説】

EUの現状への理解を計る問題とEUのメリットについて、文章で表現する問題です。

- ・(3)では「加盟する」と関税(貿易の時にかかる税金)が「どうなるのか」ということ、その結果外国製品が「どうなるのか」ということが押さえられているかがポイントです。さらに、「人の移動」については、「自由」とのセットで押さえることが必要です。

【解答】

EU加盟国の国民一人当たりのGDPが一番多いルクセンブルクは、一番少ないブルガリアの11倍以上あり、国家間の経済力の格差が大きい。その格差を少なくし、EU全体の経済力を引き上げることが課題である。

(99字)

- ・ 100字以内で書いている。
- ・ 「11倍以上」「経済力」という2つの言葉を使って書いている。

【解説】

EUについての問題点(悩み、デメリット)を、資料を基に論述する問題です。

- ・ ここでは、指定語句が「11倍以上」という言葉であるので、まず、その意味を提示された資料から探すことが必要です。

このような資料を見るとき基礎・基本として、①「タイトル」をみる。②縦軸、横軸をみる。③単位をみる。④統計年度をみる。⑤出典をみる。⑥変化をみる。などが考えられます。

今回の資料は「1人当たりのGDP比較」です。縦軸には国名が、横軸には金額がUSドルの単位で表示されています。このような資料で着目したいのは、一番金額の多い国と少ない国です。

一番多い国はルクセンブルクの111,400USドルで、一番少ない国はブルガリアの9,700USドルです。

そこで、この2国を比較して、「111,4÷9,7」の計算をすると、「11倍以上」というキーワードが見つかります。「11倍以上」とは、加盟国間の経済力の差(=経済格差)を表しています。

「11倍以上」の対象となる2国を「ルクセンブルク」と「ブルガリア」という国名で表記するか、「EU加盟国中、GDPが最大の国と最小の国」という表現などで文章化し、「経済力」という言葉を使って、格差に結びつけて文がまとめられていればよいです。